

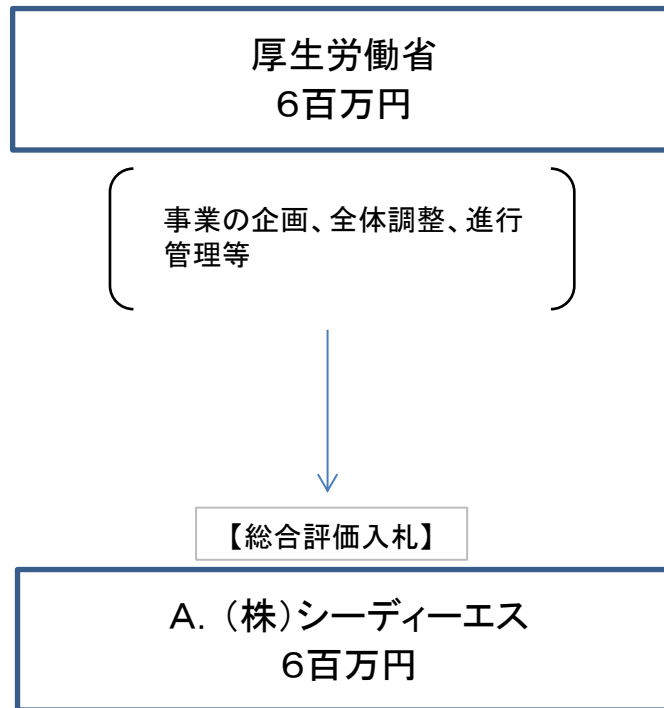
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	薬価基準改正経費		担当部局庁	保険局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	—		担当課室	医療課		宇都宮 啓	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法(大正14年法律第70号)第76条		関係する計画、通知等	「平成24年度薬価制度改革の骨子」(平成23年12月21日中央社会保険医療協議会) 「平成24年度診療報酬改定の基本方針」(平成23年12月1日社会保障審議会医療保険部会・社会保障審議会医療部会)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	診療報酬改定に併せて「診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)」の規定に基づき定める「使用薬剤の薬価(薬価基準)(平成20年厚生労働省告示第60号)」の改正を行うに際し、当該基準既収載品の薬価の算定を正確かつ精密に行うために必要なデータの集計・分析・整理を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	既収載医薬品(約1万6千品目)の薬価算定の基礎資料とするため、医政局経済課が過去3カ年間に実施した薬価調査のデータ及び隔年で実施する薬価本調査のデータを用いる等により、全薬価基準収載医薬品について薬価調査結果の概要を整え、品目ごと、薬効群ごと等の薬価ベース取引金額、使用量の推移等が解析できるデータを作成する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	12	11	11	8	8
		補正予算					
		繰越し等					
	計	12	11	11	8	8	
	執行額	7	7	6			
執行率(%)	55.4	67.7	59.4				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は、薬価基準既収載品の薬価の算定を正確かつ精密に行うために必要なデータの集計、分析、整理を行うことを目的としており、具体的な数値目標を設定することは困難である。			成果実績	—	—	—
			達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は、医薬品の薬価等に関する各種データの集計・分析・整理等を実施するものであり、その実績を数量等で計れない性質のものであるため、定量的な指標を示すのが困難である。			活動実績(当初見込み)	—	—	—
					( — )	( — )	( — )
単位当たりコスト	— (円/ )		算出根拠	—			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	薬価基準改正経費	8	8				
	計	8	8				

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	薬価基準既収載品の薬価の算定を行うための基礎資料を得ることを目的としており、広く国民のニーズがあり、国費により実施する必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	薬価の算定に関する基礎資料の収集が目的であるため、国が実施すべき事業である。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	薬価基準既収載品の薬価の算定を行うための基礎資料を得るための手段として位置づけており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	一般競争入札(総合評価落札方式)を実施している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—	—	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—	—	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—	—	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	データの集計、整理等、事業遂行のための必要な費目・使途に限定されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	一般競争入札による業者選定を行った結果によるもの。	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	薬価に関する各種調査結果に基づいて集計、整理を行うことにより、実効性の高い手段となっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—	—	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	薬価基準既収載品の薬価の算定のための基礎資料として活用している。	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—	—	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	執行額については、一般競争入札の結果によるものであり、特段の問題はないと判断。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	本事業の必要性の観点からの評価は概ね妥当であるが、引き続き適正な執行に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	269	平成23年	240	平成24年	206

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかについて補足する)  
(単位：百万円)

A.(株)シーディーエス			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	帳票印刷・帳票出力オペレータ	3			
人件費	プログラム作成	2			
人件費	算定支援(SE)	1			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)シーディーエス	医薬品品目マスターの更新、データ分析等	6	2	80.33%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					